

2010年3月期 第2四半期決算説明会

1. 第2四半期決算の概要(連結)
2. 通期の業績見通し
3. 当社の基本戦略

2009年11月13日

Fighting Disease with Electronics



第2四半期決算の概要 (連結)

1) 当第2四半期の決算概要

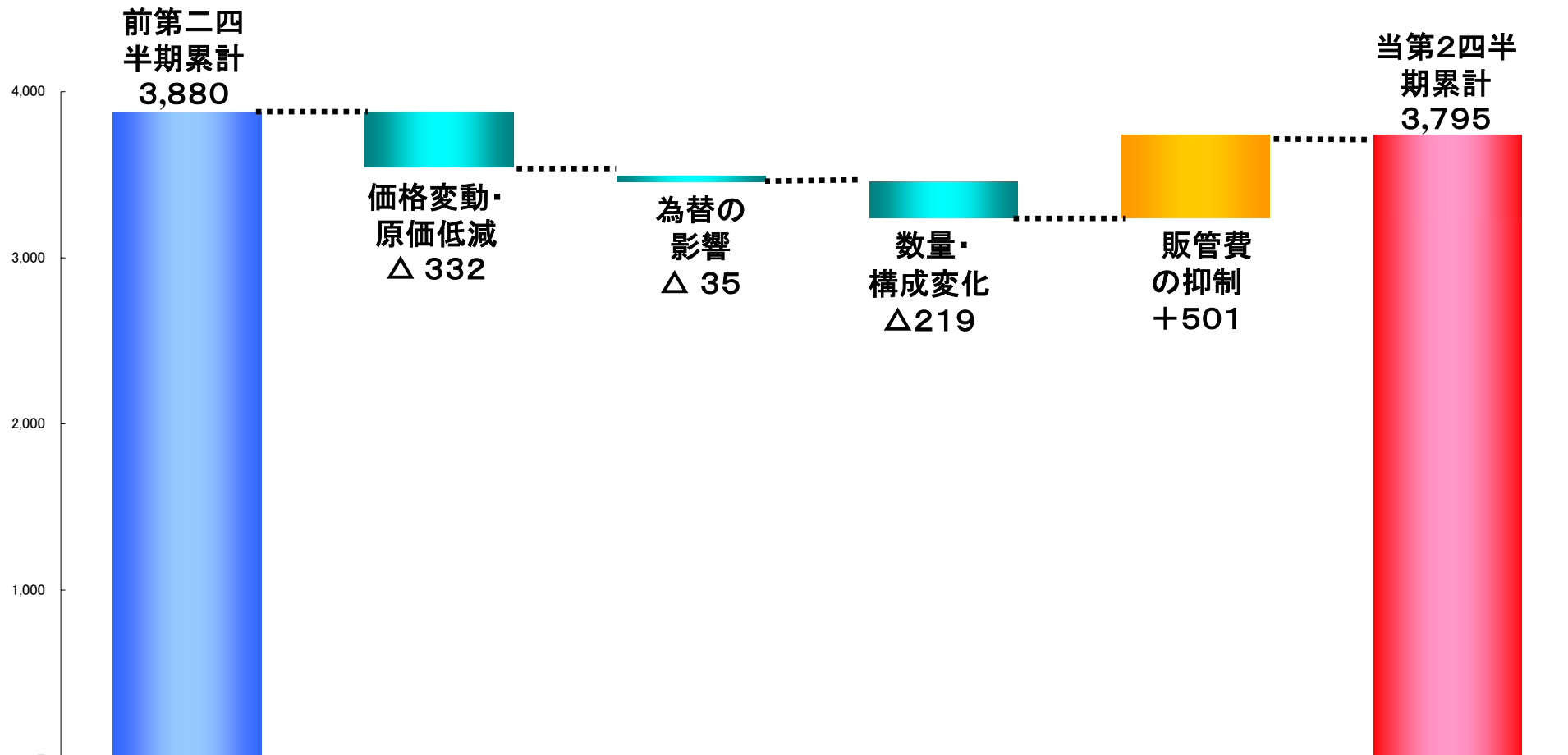
(単位:百万円、単位未満切捨て)

	前第2四半 期累計 (2008/9)	当第2四半期累計(2009/9)		
		期初予想	実績	対前年同期増減率 (%)
売上高	53,855	50,500	49,847	△ 7.4
国内売上高	42,597	—	40,867	△ 4.1
海外売上高	11,258	—	8,980	△ 20.2
営業利益	3,880	2,200	3,795	△ 2.2
経常利益	3,881	2,200	3,809	△ 1.8
純利益	2,206	1,300	2,253	2.2

平均レート	(2008/9)	(2009/9)
1ドル	105	96
1ユーロ	164	134

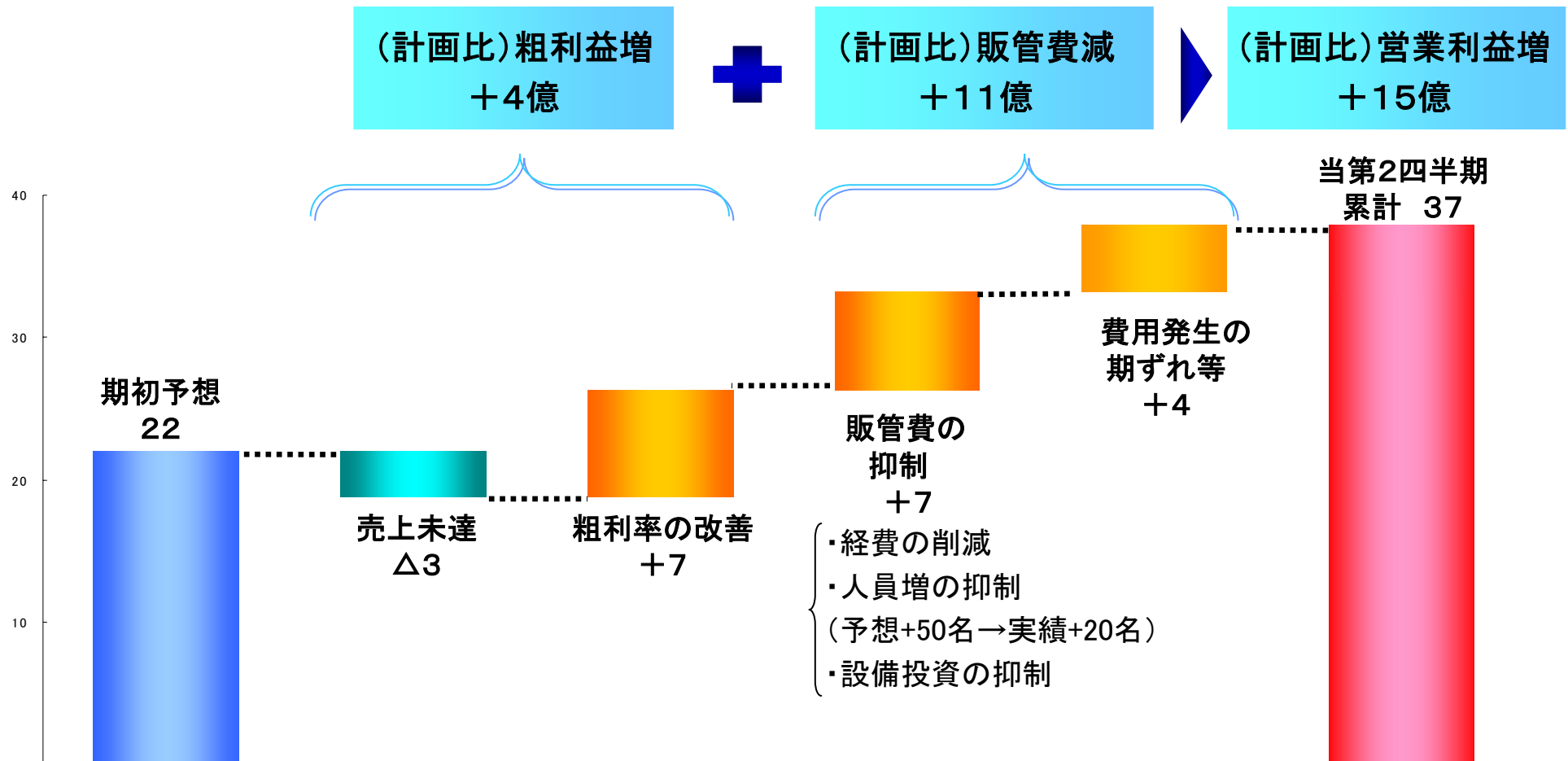
2.1) 営業利益増減の要因分析 (対前年同期)

(単位:百万円、単位未満切捨て)



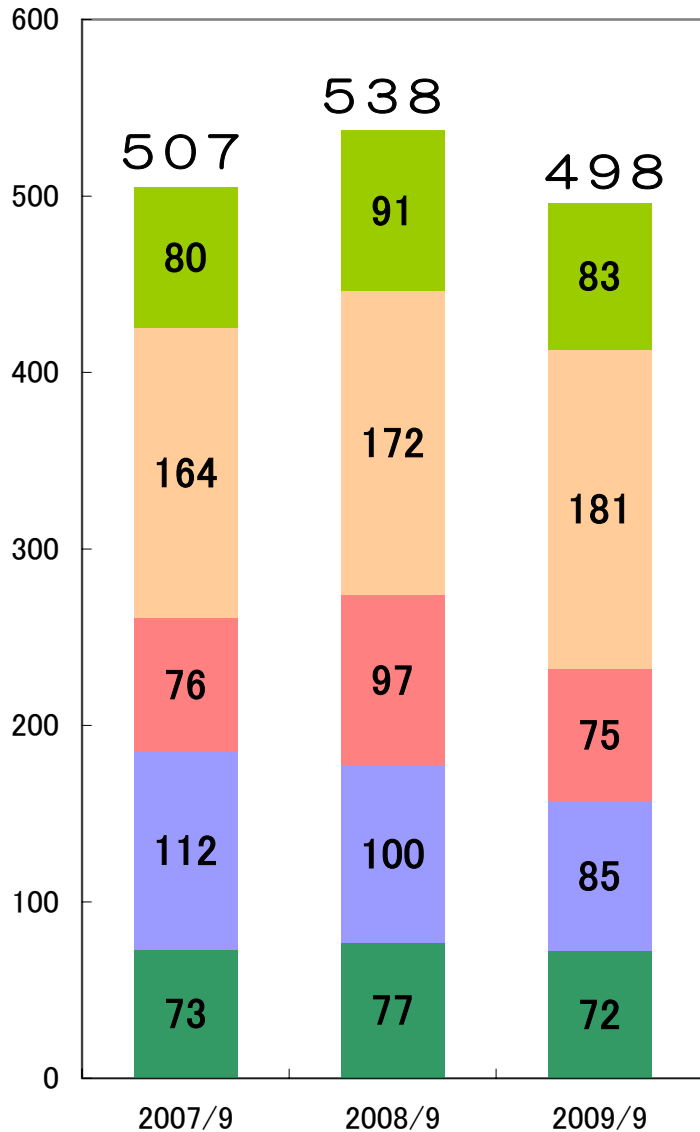
2.2) 営業利益増減の要因分析 (対期初予想)

(単位:億円、単位未満切捨て)



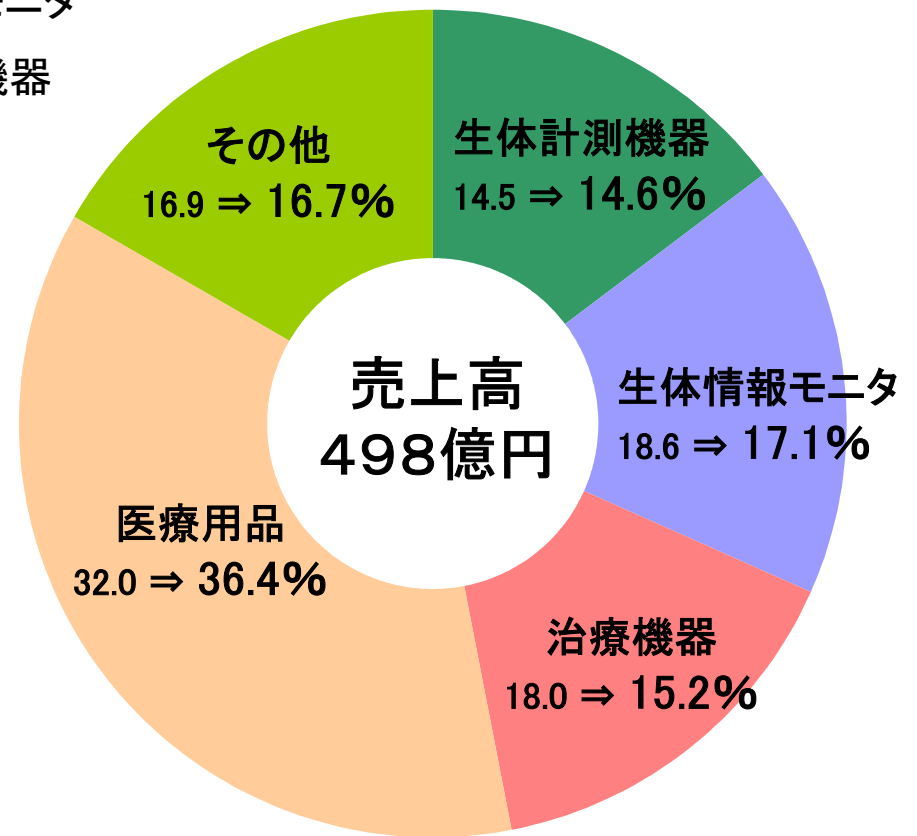
3) 商品群別売上高

(単位: 億円)



- その他
- 医療用品
- 治療機器
- 生体情報モニタ
- 生体計測機器

商品群別売上構成比
(2008/9 ⇒ 2009/9)



3.1) 生体計測機器

(売上高 単位:百万円)

	前第2四半期 累計(2008/9)	当第2四半期 累計(2009/9)	増減率(%)
脳神経系群	3,379	3,002	△ 11.2
心電計群	2,712	2,747	1.3
ポリグラフ群	1,699	1,539	△ 9.4
生体計測機器合計	7,790	7,288	△ 6.4
うち国内売上高	5,138	5,206	1.3
うち海外売上高	2,652	2,081	△ 21.5



脳波計 EEG-1200



心電計 ECG-1250



ポリグラフ RMC-4000

3.2) 生体情報モニタ

(売上高 単位:百万円)

	前第2四半期 累計(2008/9)	当第2四半期 累計(2009/9)	増減率(%)
生体情報モニタ合計	10,028	8,503	△ 15.2
うち国内売上高	5,884	5,455	△ 7.3
うち海外売上高	4,144	3,047	△ 26.5



医用テレメータ
WEP-5200
シリーズ



ベッドサイドモニタ
BSM-6000
シリーズ



セントラルモニタ CNS-9601

3.3-1) 治療機器

(売上高 単位:百万円)

	前第2四半期 累計(2008/9)	当第2四半期 累計(2009/9)	増減率(%)
除 細 動 器	6,542	4,504	△ 31.2
ペ ー ス メ ー カ	1,745	1,691	△ 3.1
人 工 呼 吸 器	748	707	△ 5.5
そ の 他 治 療 器	666	671	0.8
治 療 機 器 合 計	9,703	7,574	△ 21.9
うち国内売上高	8,449	6,380	△ 24.5
うち海外売上高	1,253	1,193	△ 4.8



AED-2100

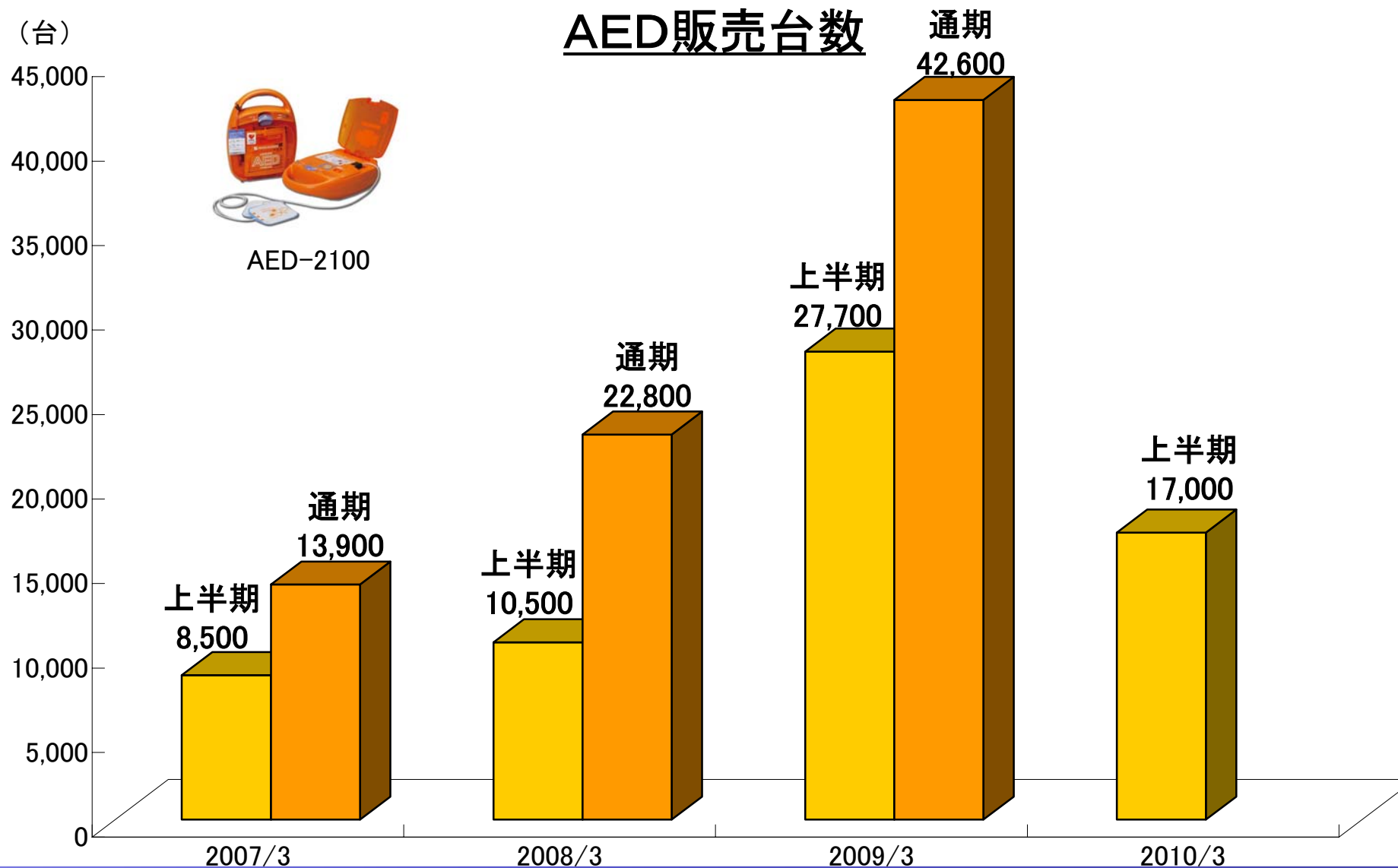


心臓ペースメーカー Kiklos DR



人工呼吸器HAMILTON-C2

3.3-2) AEDの販売実績



3.4) 医療用品

(売上高 単位:百万円)

	前第2四半期 累計(2008/9)	当第2四半期 累計(2009/9)	増減率(%)
消 耗 品	13,834	14,443	4.4
修 理・保 守 他	3,374	3,699	9.6
医 療 用 品 合 計	17,209	18,143	5.4
うち国内売上高	14,918	16,006	7.3
うち海外売上高	2,290	2,136	△ 6.7



フィンガープローブ TL-201T



血圧カフ(YAWARA CUFF) YP-703T

コロンブス・コミッティ

The CHANGE
Columbus Committee

国内外のサービス事業、
用品事業の強化を推進

3.5) その他

(売上高 単位:百万円)

	前第2四半期 累計(2008/9)	当第2四半期 累計(2009/9)	増減率 (%)
検体検査装置	2,153	1,666	△ 22.6
医用システム、トランス、 画像診断装置他	6,971	6,671	△ 4.3
その他合計	9,124	8,337	△ 8.6
うち国内売上高	8,206	7,817	△ 4.7
うち海外売上高	917	520	△ 43.2

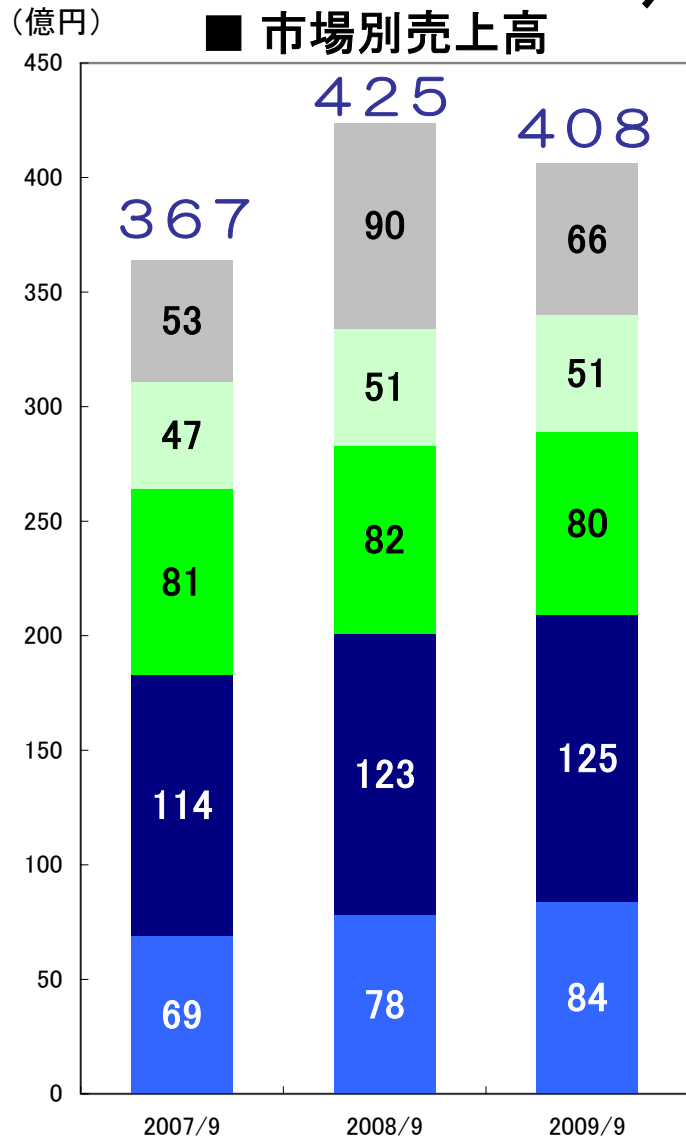


全自動血球計数器 MEK-6400

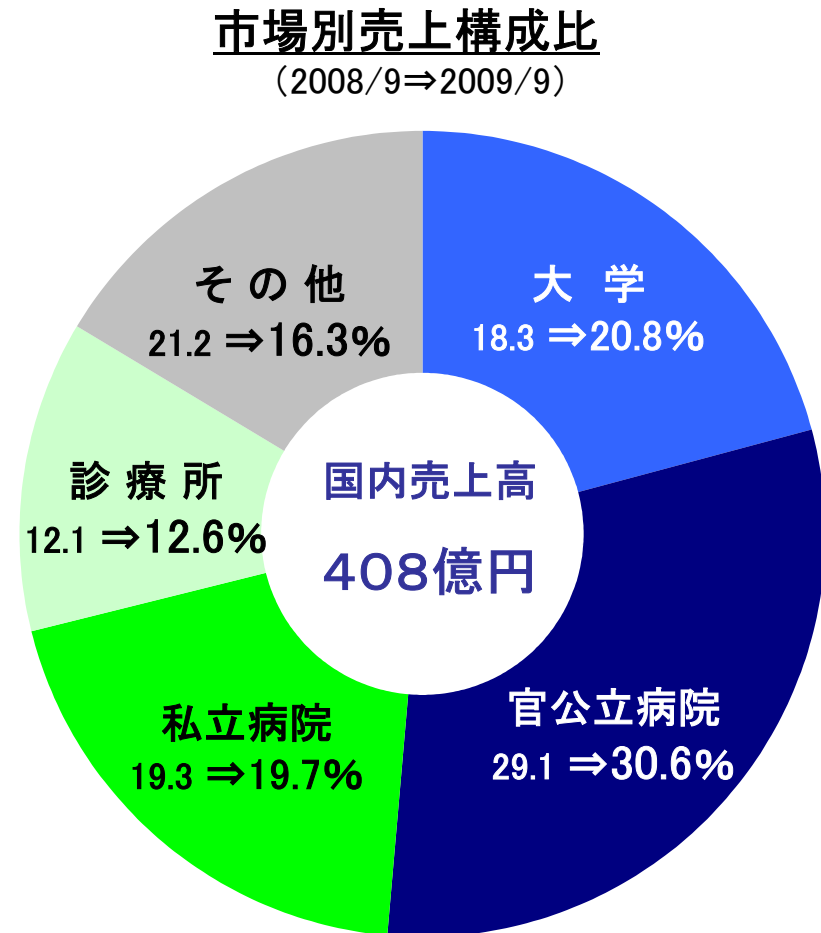


診療支援システム Prime park

4) 国内売上高

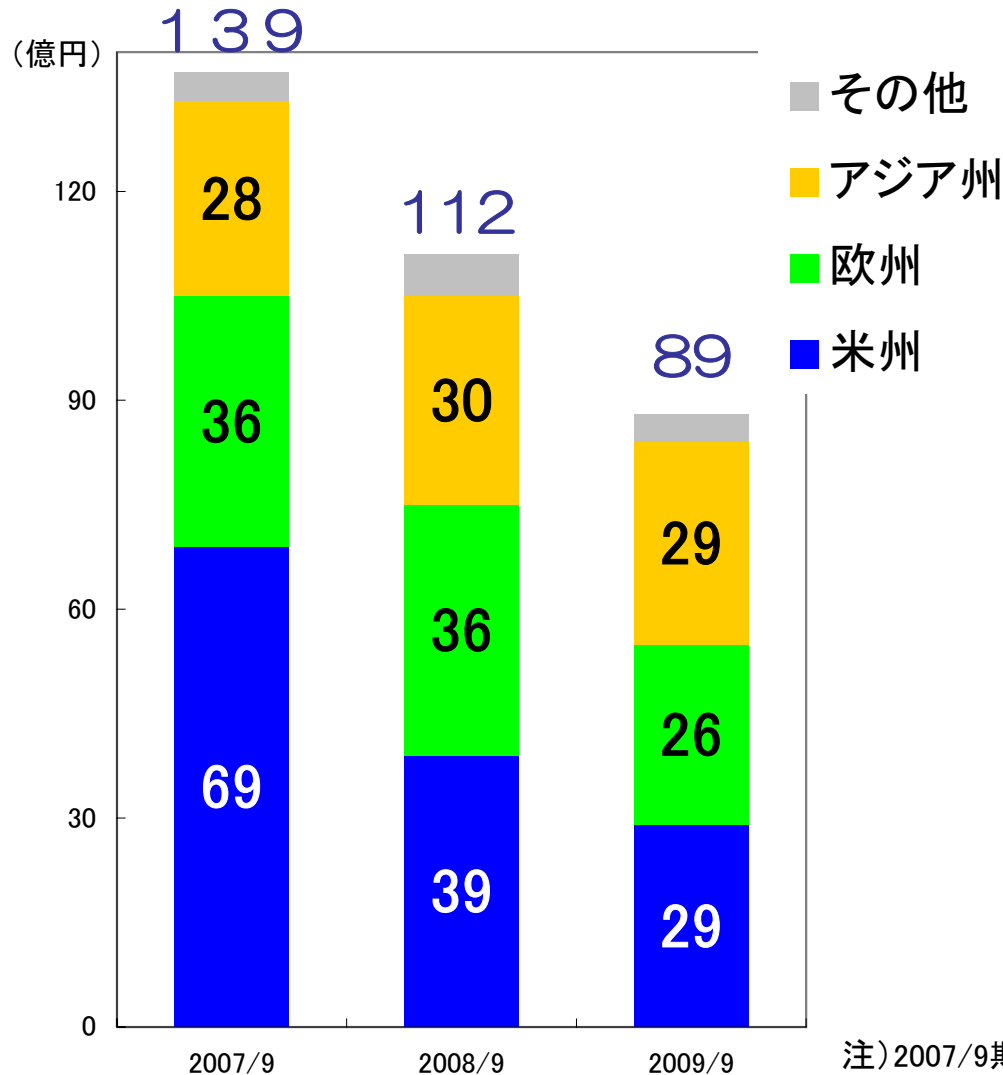


- その他
- 診療所
- 私立病院
- 官公立病院
- 大学



5) 海外売上高

■ 海外売上高構成

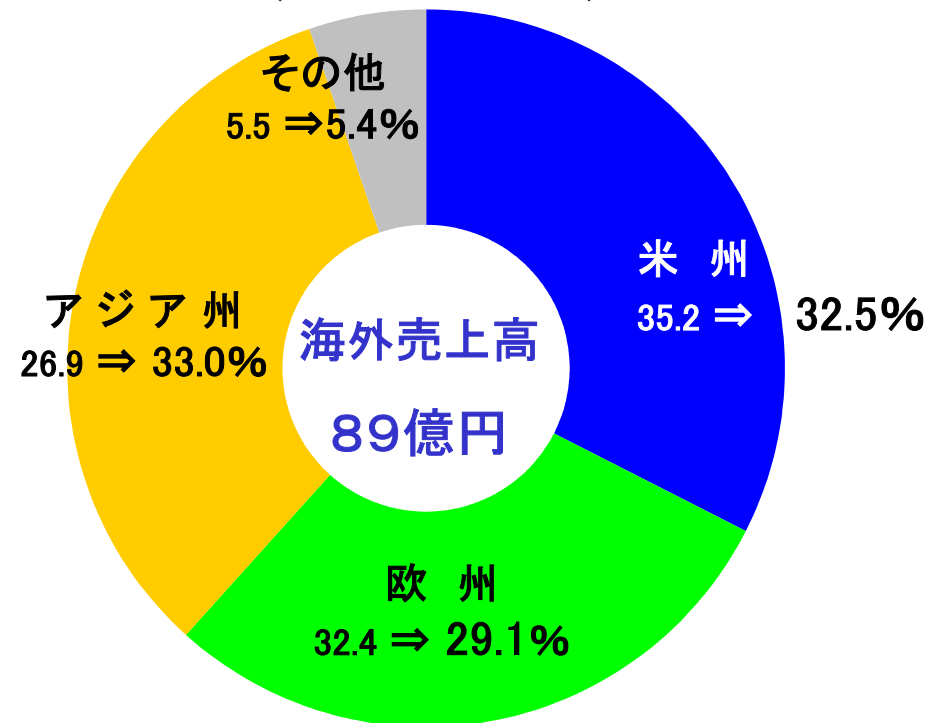


海外売上高比率

2007/9	2008/9	2009/9
27.5%	20.9%	18.0%

地域別構成比

(2008/9⇒2009/9)



注) 2007/9期の米州には、中南米での大口商談約22億円を含みます。

6) 財政状態

(単位:百万円、単位未満切捨て)

	前期末 (2009/3)	当第2四半期末 (2009/9)	増減額
流動資産	61,470	59,876	△ 1,594
固定資産	19,008	18,540	△ 468
資産合計	80,479	78,416	△ 2,062
流動負債	26,277	22,681	△ 3,596
固定負債	631	603	△ 28
負債合計	26,909	23,284	△ 3,625
純資産	53,569	55,132	1,562
負債・純資産合計	80,479	78,416	△ 2,062

上期末の取引に比べ年度末の取引が多いため。
 売上債権 △3,166
 仕入債務 △2,397

7) キャッシュフロー

(単位:百万円、単位未満切捨て)

	前第2四半期 累計(2008/9)	当第2四半期 累計(2009/9)	増減額
I 営業CF	2,839	5,425	2,586
II 投資CF	△ 2,482	△ 787	1,695
FCF	357	4,638	4,281
III 財務CF	△ 200	△ 1,309	△ 1,109
換算差額	49	142	93
増減額	207	3,472	3,264
中間期末残高	14,004	14,669	665

	(08/9)	(09/9)	増減
棚卸資産の増減(増加△)	285	1,579	+1,293

	(08/9)	(09/9)	増減
有形固定資産の取得	△2,180	△586	+1,593

8) 設備投資と研究開発費

(単位:百万円、単位未満切捨て)

	前第2四半期 累計 (2008/9)	当第2四半期 累計(2009/9)	2009/3 前期実績	2010/3予想	
				期初	11/5修正
設備投資額	2,601	1,414	4,645	5,000	4,600
減価償却費	1,181	1,184	2,726	3,100	2,700
研究開発費	2,467	2,118	4,656	4,700	4,400

- 設備投資の上期実績……新製品の「型」投資、販促用製品、測定器・治具
ERPシステム導入(9億円)
- 下期計画における主な案件…新製品の「型」投資、販促用製品
ERPシステム導入(13億円)

通期の業績見通し

1) 経営環境

- ・世界景気後退の影響で医療機器市場も依然厳しい状況
- ・中国、日本では政府の景気刺激策が寄与

【海外】 比較的堅調 — 中国、西欧諸国

依然厳しい状況 — 米国、ロシア、一部新興国

【国内】 比較的堅調 — 大学・官公立病院市場

依然厳しい状況 — PAD市場(AED)

政府の政策動向が医療機器市場に影響？

【海外】 米オバマ政権の医療制度改革

【国内】 民主党政権下での医療政策、診療報酬改定

2) 通期の業績見通し

(単位:百万円、単位未満切捨て)

	2009/3 前期実績	2010/3予想		増減率 (%)
		期初	11/5修正	
売上高	109,123	107,000	107,000	△ 1.9
国内売上高	87,402	87,500	87,500	0.1
海外売上高	21,721	19,500	19,500	△ 10.2
営業利益	8,106	6,000	8,200	1.2
経常利益	7,640	6,000	8,200	7.3
当期純利益	4,610	3,700	5,100	10.6

海外売上高比率 19.9% 18.2% 18.2%

平均レート

1ドル	101円	90円	93円
1ユーロ	145円	120円	133円

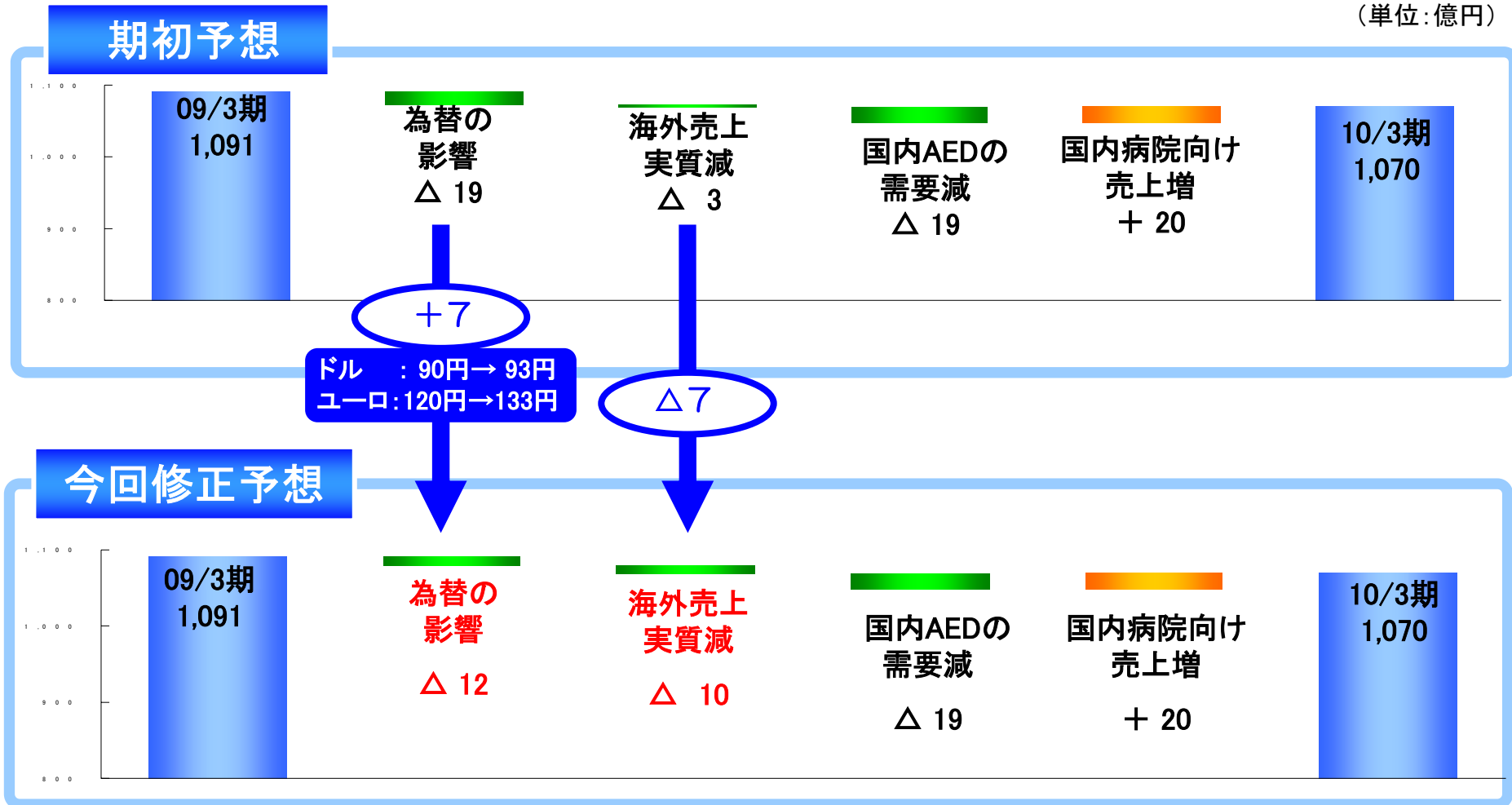
(下期)

90円
132円

3) 売上見通しの要因分析

【売上高】

(単位: 億円)

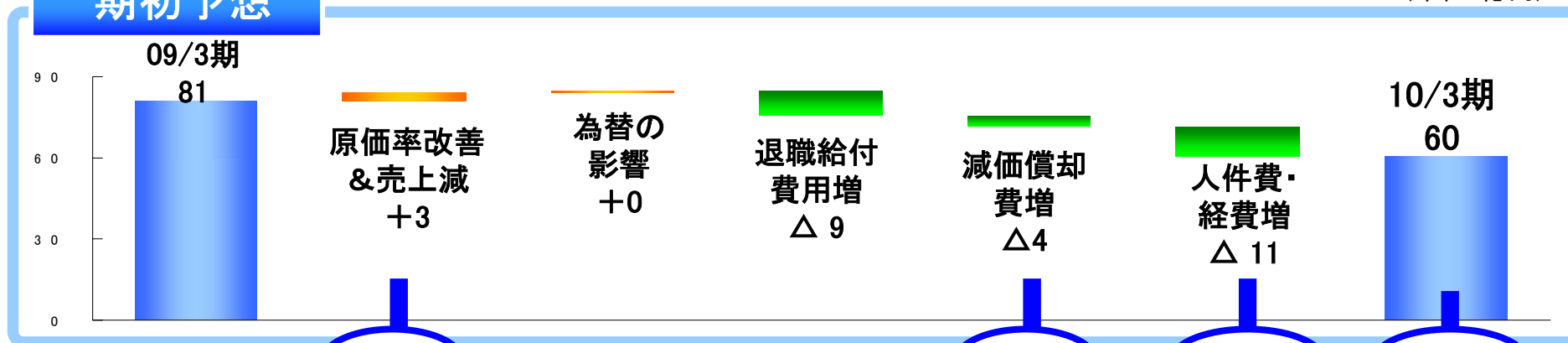


4) 営業利益見通しの要因分析

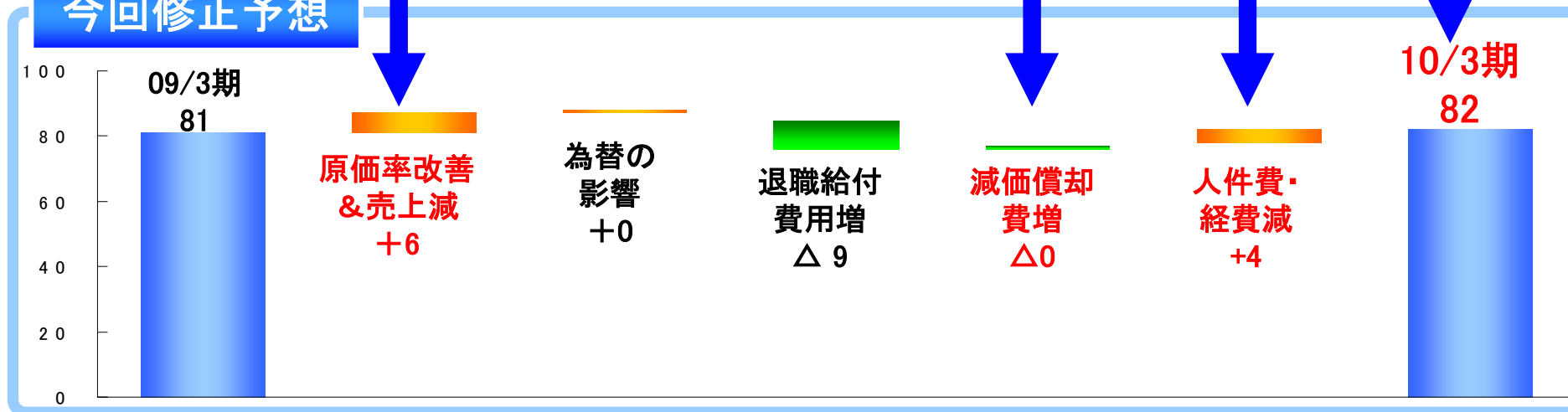
【営業利益】

(単位: 億円)

期初予想



今回修正予想



[参考]商品群別通期売上高見通し

(単位:百万円、単位未満切捨て)

	2009/3 前期実績	2010/3予想		増減率(%)
		期初	11/5修正	
生体計測機器	16,811	16,700	16,700	△ 0.7
生体情報モニタ	20,039	19,900	19,600	△ 2.2
治療機器	18,106	16,400	16,300	△ 10.0
医療用品	34,798	36,200	36,700	5.5
その他	19,367	17,800	17,700	△ 8.6
売上高合計	109,123	107,000	107,000	△ 1.9

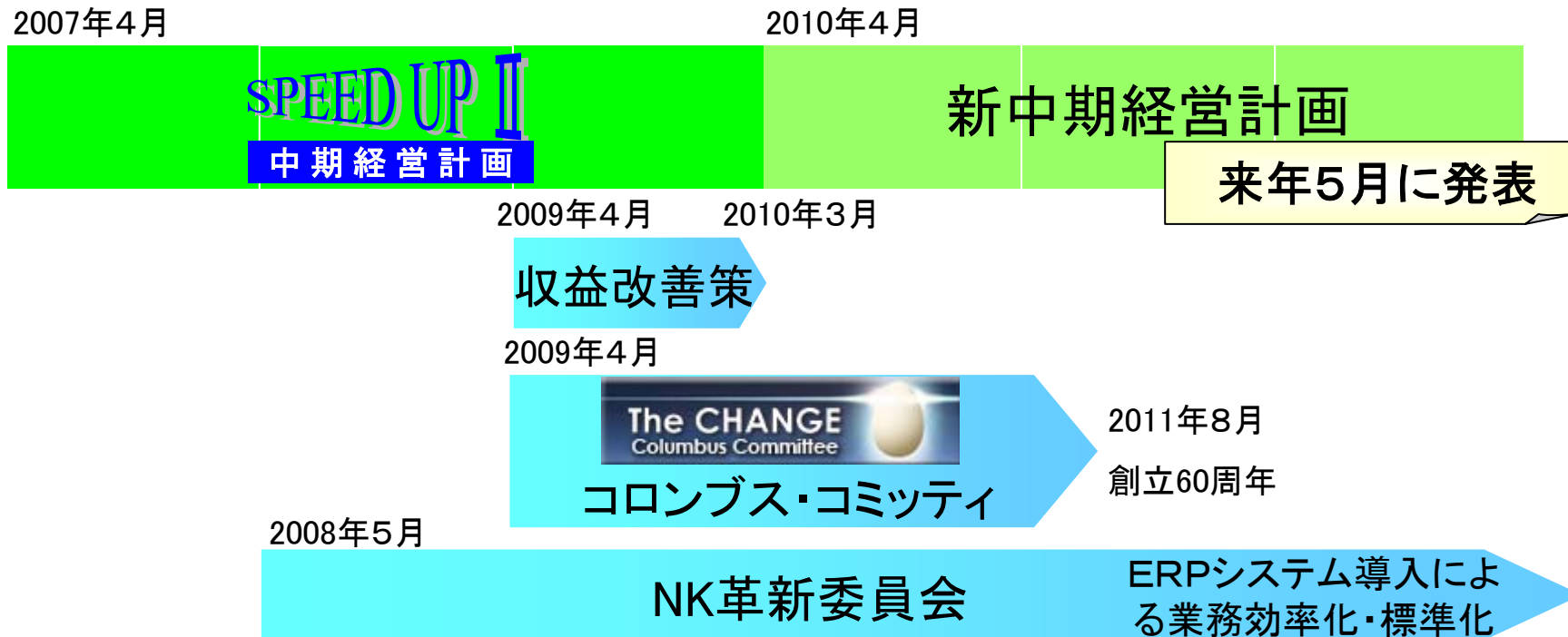
当社の基本戦略

1) 2010年3月期の取り組み

I. SPEED UP II の基本戦略を推進

II. 追加策として、「収益改善策」「コロンブス・コミッティ」

- 収益改善策: 短期の緊急対策プログラム
- コロンブス・コミッティ: グローバル事業の推進強化



2.1) 生体情報モニタ事業の拡大

- ・(国内外)2008年発売商品の拡販
- ・(国内外)新商品モニタの投入

下期発売予定

コストパフォーマンス
に優れた普及型モニタ



バイタルサインモニタ
PVM-2701

年内発売予定

カラー液晶で心電図波形
の確認が可能に。
メモリ機能付き。



ディスプレイ付送信機
ZS-530P



ベッドサイドモニタ
BSM-6000シリーズ
2008年11月発売

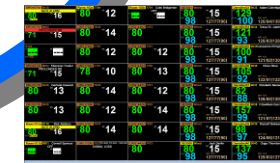


セントラルモニタ
CNS-9601
2008年4月発売

医療現場のニーズに合わせ、
安全性と使いやすさを追求



医用テレメータ
WEP-5200シリーズ
2008年10月発売



Prefense
2008年5月米国発売
ディスプレイ付送信機
ZM-540P
2009年8月米国発売

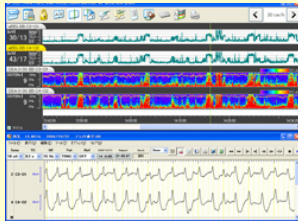
2.2) 生体情報モニタ事業の拡大

(国内)周産期医療体制整備に予算

新生児看護の安全に寄与する商品の提供

国産初のaEEGモニタリング

脳波トレンドプログラム **QP-160A**



aEEG※の開発
(脳波計搭載)

2009年8月国内発売

当社独自のCO2センサ

TG-970P



・世界最小最軽量
メインストリーム方式
CO2センサを発売

(2009年6月)



YG-213T
(試作品)

・現在、新生児用挿管
アダプタを開発中

2011年3月期中国内発売予定

※ aEEG (amplitude-integrated EEG): 脳波の振幅の変化を圧縮して表示したトレンドグラフ。欧米では、新生児領域で普及が進んでおり、新生児けいれん(発作)や低酸素虚血性脳症などの早期診断、早期治療に役立つ機能。

3) AED事業の強化

国産初のAED

AED-2100

2009年7月国内発売

「優れたデザイン」が評価され、
グッドデザイン賞を受賞



AED監視システムの開発

2011年3月期上期発売予定

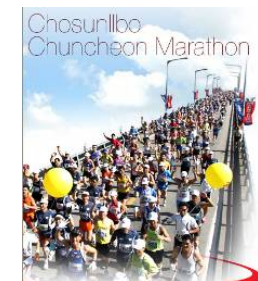
AED本体に搭載のBluetooth*を活用し、
安全運用のための監視システムを構築

※AED-2100のみ

**自社製AEDの
海外展開**

韓国：ブランド認知を目指し販促活動

欧州：医療機関向け販売スタート



春川マラソンにAED貸出

4) 中国事業の強化

2009年10月

(本社) 中国統括本部を新設

中国事業の拡大

開発
メディネット光電

生産
上海光電

販売
日本光電貿易(上海)

順次、移管

生産移管の促進、現地化

現在

中国市場向け
ローエンド心電計 中心

2010年3月期中

・血球計数器 1機種
・心電計 2機種

2011年3月期中

試薬生産開始
生体情報モニタ 1機種

2012年3月期～

中国拠点でのグローバル市場向け普及機の開発・生産

この資料に記載されている業績予想数値は、当社および当社グループ会社の事業に関連する業界の動向、国内外の経済情勢、各種通貨間の為替レートの変動など、業績に影響を与える要因についての現時点で入手可能な情報を基にした見通しを前提としております。同数値は、市況、競争状況、新商品導入の成否など多くの不確実な要因の影響を受けます。

従って、実際の業績は、この資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

【担当部署】 経営企画室

【連絡先】 TEL03-5996-8003